



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社京写 上場取引所 東  
コード番号 6837 URL <https://www.kyosha.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 児嶋 一登  
問合せ先責任者(役職名) 取締役 専務執行役員 経営管理本部長 (氏名) 平岡 俊也 (TEL) 075-631-3193  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	18,526	△5.5	556	△45.2	343	△56.9	177	△67.6
2025年3月期第3四半期	19,614	5.0	1,014	10.1	796	32.4	546	43.6

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 △406百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 613百万円(△51.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	12.17	—
2025年3月期第3四半期	37.71	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	23,891	9,559	39.0
2025年3月期	24,754	10,100	39.7

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 9,308百万円 2025年3月期 9,830百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	11.00	11.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	24,000	△8.5	700	△45.2	460	△53.6	220	△64.2

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 有
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	14,624,000株	2025年3月期	14,624,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	23,887株	2025年3月期	93,687株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	14,563,958株	2025年3月期3Q	14,495,367株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無  
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書 .....	5
第3四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計上の見積りの変更) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の当社が属するプリント配線板業界は、国内では自動車の生産低迷が続いており、家電製品などの生産は増加したものの、需要は依然として足踏みが見られました。また、米国の関税政策による世界経済への影響、中国の景気減速、為替変動、地政学リスクによる原材料、エネルギー価格の高止まりなど、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような環境の中、当社グループの国内の状況は、プリント配線板事業では、自動車関連分野の受注低迷が続いたものの、LED照明等の家電製品やアミューズメント分野と電子部品向け等の金属基板の受注増加により、前年同期を上回りました。実装関連事業は、回復傾向にあるものの、主力の航空機向けで在庫調整の影響を受け受注が減少しました。これらの結果、国内の売上高はプリント配線板事業の増収により前年同期を上回りました。

海外においては、自動車向けは付加価値の高い金属基板の受注は増加するも受注全体が減少し、また事務機分野の受注が減少した結果、売上高は、前年同期を下回りました。これらの結果、連結売上高は18,526百万円（前年同期比5.5%減 1,088百万円の減収）となりました。

利益面は、国内で自動車関連分野の低迷、金属基板の新規量産立上げに伴う費用増加、原材料及び製造経費等の高騰に対し、継続して販売価格適正化やコスト改善等に取り組んだ結果、営業損失が縮小しました。海外ではインドネシアで上期に実施の設備増強は完了しましたが、受注全体の減少により減益となりました。

これらの結果、営業利益は556百万円（前年同期比45.2%減 458百万円の減益）、経常利益は343百万円（前年同期比56.9%減 453百万円の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は177百万円（前年同期比67.6%減 369百万円の減益）となりました。

### (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

#### (総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、主に現金及び預金の増加399百万円、受取手形及び売掛金の減少619百万円、有形固定資産の減少580百万円等により、23,891百万円（前連結会計年度末比862百万円の減少）となりました。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は、主に1年内返済予定の長期借入金の増加305百万円、未払法人税等の減少122百万円、長期借入金の減少746百万円等により、14,331百万円（前連結会計年度末比322百万円の減少）となりました。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、主に為替換算調整勘定の減少580百万円等により、9,559百万円（前連結会計年度末比540百万円の減少）となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績につきましては、2025年11月14日発表からの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,422	5,821
受取手形及び売掛金	3,712	3,092
電子記録債権	673	556
製品	2,123	2,006
仕掛品	713	685
原材料及び貯蔵品	1,570	1,684
その他	1,621	1,865
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	15,834	15,711
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,838	5,827
減価償却累計額	△4,179	△4,238
建物及び構築物（純額）	1,659	1,588
機械装置及び運搬具	13,506	13,285
減価償却累計額	△9,202	△9,126
機械装置及び運搬具（純額）	4,304	4,158
土地	724	724
建設仮勘定	420	15
その他	1,610	1,664
減価償却累計額	△1,130	△1,144
その他（純額）	480	520
有形固定資産合計	7,588	7,007
無形固定資産	140	109
投資その他の資産		
投資有価証券	592	624
繰延税金資産	105	109
長期滞留債権	703	661
その他	496	329
貸倒引当金	△705	△662
投資その他の資産合計	1,192	1,063
固定資産合計	8,920	8,180
資産合計	24,754	23,891

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,005	2,984
電子記録債務	814	846
短期借入金	3,635	4,012
1年内返済予定の長期借入金	673	978
リース債務	37	33
未払法人税等	287	165
賞与引当金	268	252
その他	1,051	845
流動負債合計	9,774	10,118
固定負債		
長期借入金	4,098	3,351
リース債務	42	43
退職給付に係る負債	336	347
その他	402	470
固定負債合計	4,880	4,213
負債合計	14,654	14,331
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,222	1,241
利益剰余金	4,678	4,695
自己株式	△10	△2
株主資本合計	6,992	7,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	220	277
繰延ヘッジ損益	△245	△290
為替換算調整勘定	2,770	2,190
退職給付に係る調整累計額	92	94
その他の包括利益累計額合計	2,837	2,272
非支配株主持分	269	251
純資産合計	10,100	9,559
負債純資産合計	24,754	23,891

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	19,614	18,526
売上原価	16,065	15,593
売上総利益	3,549	2,933
販売費及び一般管理費	2,534	2,376
営業利益	1,014	556
営業外収益		
受取利息	9	8
受取配当金	9	13
為替差益	36	8
雑収入	16	23
営業外収益合計	72	53
営業外費用		
支払利息	273	231
売上債権売却損	3	4
雑損失	13	30
営業外費用合計	290	266
経常利益	796	343
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	—	135
特別利益合計	0	136
特別損失		
固定資産売却損	4	3
固定資産除却損	5	23
特別損失合計	9	26
税金等調整前四半期純利益	788	453
法人税、住民税及び事業税	218	280
法人税等合計	218	280
四半期純利益	569	173
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	22	△4
親会社株主に帰属する四半期純利益	546	177

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	569	173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73	57
繰延ヘッジ損益	△103	△45
為替換算調整勘定	61	△594
退職給付に係る調整額	12	2
その他の包括利益合計	44	△580
四半期包括利益	613	△406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	597	△388
非支配株主に係る四半期包括利益	16	△18



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

当社の連結子会社であるGuangzhou Kyosha Circuit Technology Co.,Ltd.及びGuangzhou Kyosha Trading Companyが保有する有形固定資産について、第2四半期連結会計期間において使用実態を見直した結果、従来の耐用年数よりも長期間使用可能であることが明らかとなったため、耐用年数及び残存価額を将来にわたり変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ54百万円増加しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前四半期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国	インドネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	7,183	10,040	1,744	66	580	19,614
セグメント間の内部売上高 又は振替高	526	785	330	58	2,697	4,398
計	7,710	10,825	2,074	125	3,278	24,013
セグメント利益又は損失(△)	△138	900	2	△10	240	995

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	995
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	19
四半期連結損益計算書の営業利益	1,014

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					合計
	日本	中国	インドネシア	メキシコ	ベトナム	
売上高						
外部顧客への売上高	7,437	8,559	1,830	48	651	18,526
セグメント間の内部売上高 又は振替高	552	999	242	61	2,269	4,125
計	7,990	9,559	2,072	109	2,920	22,652
セグメント利益又は損失(△)	△41	620	△156	3	82	508

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位: 百万円)

利益	金額
報告セグメント計	508
「その他」の区分の利益	—
セグメント間取引消去	48
四半期連結損益計算書の営業利益	556

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	812 百万円	836 百万円